

太平洋を望むホテル

四国は読んで字のごとく四つの国からなっている。交通網からして徳島県は神戸・大阪へ向き、香川県は岡山へ向き、愛媛県は広島に向いている。それぞれが日本を代表する橋で結ばれている。

残る高知県は本州につながる橋もなければ、交通網も限られ多ある種閉鎖された県であった。しかし広大な太平洋に面しており、世界に広がる果てしない海を擁しているのだ。

高知市より西へ約 50 kmにある中土佐町は、カツオの一本釣りで有名な町であった。太平洋を一望できるシックで豪華なホテルに泊まった。温泉に浸かり日頃の疲れを取るには最高の場所であった。広がる海を見ながら日本の童謡・唱歌「海」が自然に出てきた。「♪～海は広いな 大きいな 月がのぼるし 日が沈む 海は大波 青い波 ゆれてどこまで続くやら 海にお船を浮かばして 行ってみたいな よその国～♪」広い太平洋の向こうには知らない国がある。どんな国なのか。人種、文化、歴史、言葉、生活……。限りないロマンは広がる。



ここからすぐ近くの土佐市宇佐町が、漁師「ジョン万次郎」の夢のスタートであった。乗り組んだ漁船は足摺沖で操業中に嵐に会う。大破した船は海上をさまい無人島に漂着。餓死寸前にアメリカの捕鯨船に助けられハワイで手厚い保護を受ける。少年万次郎はその捕鯨船に乗り組み各国を回り、アメリカ本土で知識を習得する。その後帰国を果たし幕府の役人に取り立てられ、彼の体験し学んだ知識は日本の開国に向け大いに貢献するものであった。男であればみな憧れたであろうロマン溢れるサクセスストーリーであった。

撮影 2014 年春

